中部18403

平成３０年５月７日

一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会　中部支部

**全国技術講習会開催のご案内**

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

CATV業界での技術部門に従事する技術者の技術向上とCATV技術者資格制度、特にエキスパート資格

へのチャレンジを行うための基礎技術習得、およびCATV技術者の有資格者の技術レベルの維持・向上に役立つ技術講習会として全国技術講習会を開催します。

敬具

記

１．開催日時　：　平成３０年７月２７日（金）１３時３０分～１６時３０分

２．場　　所　：　ナカトウ丸の内ビル2F

愛知県名古屋市中区丸の内3-17-6

URL　：　https://www.nipponkaigishitsu.com/detail/print\_map.php?id=11

３．講習会内容：

テーマ：　[**ブロードバンド**](http://www.catv.or.jp/jctea/engineer/seminar/pdf/2016theme4.pdf)**中級**

(更新ポイント：6ポイント)

CATVエキスパート（ブロードバンド）資格向けに、ケーブルテレビで使われているブロードバンド技術であるDOCSISの中級編として、これまでのDOCSIS技術（DOCSIS3.0等）と新しく米国で導入開始されているDOCSIS3.1技術について解説します。

４．参 加 費　：

協会員注)は　 3,000円(税込)／人

非協会員は　 6,000円(税込)／人

注)協会員とは、一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会の会員会社の方

参加費については平成３０年７月２０日（金）までに以下の口座にお振り込みください。

なお、参加費入金後のキャンセルによる返金はいたしかねますので、ご了承ください。

５．振込先口座：　三菱UFJ銀行　栄町支店　（普）０５７２０６７

一般法人

※恐縮ですが、振込手数料はご負担願います。

６．定　　員　：　６０名

７．お申し込み：　平成３０年５月７日（月）～平成３０年７月２０日（金）までに添付の申込書にて、

中部支部事務局へFAXまたはメールでお申し込み下さい。

FAX：052-953-1439 Eメール：chubu@catv.or.jp

８．お問い合せ：　中部支部　事務局　服部、志水　　　TEL：052-953-1438

以上

中部18403

**一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会　中部支部事務局　　宛**

**ＦＡＸ　：052-953-1439**

**Eメール：chubu@catv.or.jp**

**全国技術講習会参加申込書**

**テーマ：ブロードバンド中級**

(更新ポイント：６ポイント)

開催日時　：　平成３０年７月２７日（金）　１３時３０分～１６時３０分

場　　所　：　ナカトウ丸の内ビル２Ｆ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申込日 | 平成　　　　年　　　月　　　日(参加費振込(予定)日 　月 　日) | | | |
| 区　分 | 協　会　員　・　非　協　会　員  (○を付けてください)  注) 協会員とは、一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会の会員会社の方 | | | |
| 会社・団体名 |  | | | |
| 所　属 |  | | | |
| 参加者名／  生年月日／  CATV技術者証  番号　※1 | 氏名・フリガナ | | 生年月日(西暦) | CATV技術者証番号 |
| (ﾌﾘｶﾞﾅ)  氏 名 | | 年　　月　　日生 | 第　　　　　　号 |
| (ﾌﾘｶﾞﾅ)  氏 名 | | 年　　月　　日生 | 第　　　　　　号 |
| (ﾌﾘｶﾞﾅ)  氏 名 | | 年　　月　　日生 | 第　　　　　　号 |
| 連絡先  (担当者: ) | 電話番号 |  | | |
| ＦＡＸ |  | | |
| Eメール |  | | |

※1 CATVエキスパート・第１級･総合監理技術者資格をお持ちの方はCATV技術者証に記載されている

技術者証番号を記入ください。記入しない場合は、ポイントは付与されません。

(第2級CATV技術者資格をお持ちの方は、記入不要です。)

※2 お申込みは、7月20日(金)までにFAXまたはEメールにて申し込み下さい。

※3 CATV技術者証番号を確認の上、MyPageにポイント履歴を掲載します。

(取得ポイントデータの更新については、ポイント対象講習会終了後、約1ヶ月程度の更新期間が

かかる場合があります。)

※4 更新ポイント制度については、協会のホームページ(http://www.catv.or.jp/)にて確認ください。

※5 この申込内容は本技術講習会の事務処理のみに使用し、他に流用することはありません。

以上